

迎春

学校法人 玉手山学園

認定こども園

関西女子短期大学附属幼稚園

幼稚園報

めばえ キラ☆キラ

2024年(令和6年)1月10日発行

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘 3-11-1

TEL072-977-0602 / FAX072-977-9939

<http://www.kwck.ed.jp/>

発行者 中村 斉子

印刷 有限会社西口印刷

No.49

「今年も元気に楽しく過ごしましょう」

園長 中村 斉子

新年あけましておめでとうございます。

今年には辰年です。

辰年には様々な願いを叶えてくれるだけでなく、あらゆる物を事をいい方向へ導いてくれる力があるとされています。今年には幼稚園においても、子どもたち、そして私たちが健康で元気に過ごし、いろいろなことにチャレンジして成長していきける年になってほしいと思っています。



新年あけましておめでとうございます。

を活かし考え、工夫し試し、友達と一緒に同じ目的を持って諦めずにチャレンジする姿が見られました。その姿から、ひとりひとり力強く生きる力を感じました。私たち教員は、子どもたちが無心になって遊び込める環境を作り、なんにでも臆せずチャレンジし幅広く経験できる幼稚園を、教職員一同より力を合わせて作り続けて参ります。

保護者の皆様には日頃より、幼稚園教育にご理解とご協力をありがとうございます。本年もよりしくお願い申し上げます。

昨年、子どもたちはより元気に過ごし、しっかりと遊び込み、遊びの経験

「心も身体も大きくなったね」

主任 福家 美代子

新年あけましておめでとうございます。

一学期、二学期と子どもたちは、運動遊び、絵画や共同製作などを経験し、心も身体も大きく成長



しました。

これからも信頼関係を築いた担任の先生との繋がりの中で、自分らしさを発揮したり、友だちの良さに気づいたりする体験を増やしていきたいです。

そして一緒に生活する仲間とワクワクする遊びを見つけ、「先生、見て」と子ども達が生き生きと活動ができる幼稚園であり続けられるよう、教職員一同、日々取り組んで参ります。

今年も子どもたちや保護者の皆様と共に、笑顔いっぱい幼稚園にしていることと思っていますので、引き続き本園の教育活動にご協力くださいますようお願いいたします。

すこやかな成長を願って

★寒さに負けない体づくり

副主任 松本 敦司



冷たく澄んだ空気が清々しい新年です。教員一同新たな気持ちでスタートしていきたいと思えます。

昨年未より幼稚園では寒さに

負けない体づくりをするために、毎年クラス全員で園庭やグラウンドを走る「はしりっこ」を行っています。最初は少しの距離ですぐに疲れていた子どもたちも、毎日走っていると少しずつ長く走れるようになり、身体もぼかぼか、また汗をかく等新陳代謝が上がり、次第に体力がついてきます。

まだまだ自分で体温調節が難しい幼児期に寒い冬を元気に過ごすには、①十分に体を動かして外遊びをすること、②早寝早起き、③栄養バランスの良い食事を摂ることです。幼稚園では多種多様の遊びを通して、体力づくりをしています。

また走っている中で転ぶことも覚えます。最近では転んだときに手をつけないお子様も増えてきています。寒い時こそしっかり手を出して様々な運動遊びを経験していくことで、いざ転んだ時にも、頭や顔など自分の身を守るようになっていきます。

また積極的に身体を動かして遊ぶことにより、お腹が空いておいしく食事をとることができ、過度に疲労することでも十分な睡眠をとることもできるようになります。また、そうした活動が続くことにより、健康度が高くなったり、運動習慣が身についたりしてきます。子どもにとって身体を動かして元気に遊ぶことは、身体的にも精神的にも健康を維持することにつながると考えられます。

幼稚園では、寒い季節も「はしりっこ」だけでなく、日々の遊び、生活の中でしっかりと身体を動かし、寒さに負けない強い体づくりをしています。

未就園児親子クラス

いるいる・ぴよぴよクラス

★お友達と一緒に楽しくな

未就園児担当 稲垣 晃子



五月に二歳児のびよびよクラス、九月より一歳児のころころクラスがスタートし、たくさん未就園児の子どもたちが保護者と一緒に幼稚園に遊びに来てくれています。

初めての集団生活で、緊張して保護者にくっついていたり様子がみられた子どもたちですが、日を重ねるごとに、笑顔で「おはよう」と登園してくれるようになりました。今では少しづつお母さんから離れ、自分のやりたいことを見つけて遊んだり、友達に声をかけたりする姿が見られるようになってきました。でもやっぱり子どもたちの視線は常に保護者

の方に向けられています。「お母さん、見てるかなあ」保護者の方の温かい見守りが、子どもたちの「やってみよう!」「ひとりでするかな」など、チャレンジする気持ちが湧いてくるようです。出来なかったことが出来るようになり、嬉しそうに満面の笑顔を見せてくれる子どもたちにも、私たちもいつも心がほっこりします。

また、びよびよクラスでは、石川河川公園に幼稚園バスに乗って遠足に行ったり、九月から給食をお友達と一緒に食べたりしています。これからも、お友達との関わりを大切に、幼稚園でしか体験できない活動を一緒に楽しんできたいと思います。



★柏原市立玉手小学校

中山正実 校長先生



来年の四月に小学校入学を迎える青組の皆さん、保護者の皆様、小学校入学に

あたり大きな喜びと希望に満ちている反面、新たな環境に緊張や不安な気持ちを抱いていると思います。

今回は玉手小学校を訪問し、中山正実校長先生にお話を伺いました。私たちの質問に、わかりやすい言葉で丁寧に答えてくださいました。

【質問】 就学前にどのようなことを身につけておいたほうが良いですか？

【答え】 ・基本的な生活習慣（早寝早起き、朝食を食べるなど）を身につけることが大切。

・挨拶ができること。友達との関わりの中で「ありがとう」「ごめんさい」が言えること。

・やってみたい、知りたいという興味を持ち自ら発信する力が大切。

・ひらがななどの学習面は入学してからで十分だが、自分の名前が読めるように、また余裕があれば書けるようになっておいたほうが良い。

【質問】 新生活で保護者が心がけておくことはどのようなことがありますか？

【答え】 ・子どもたちは自分の思いを親に聞いてほしい。楽しかったこと、困ったことなどを伝えられる環境を整えてあげてほしい。そうする事で子どもは安心感が得られる。家庭での安心感が学校生活での安心に繋がる。

・ゲームや携帯電話は覚悟をもって与えてほしい。ゲームは依存性が高く、低年齢からはじめたほど依存しやすいことや、生活リズムが崩れやすくなる。

インタビュー



新一年生を迎えるにあたり、少しでも安心できるように担任の先生だけでなく学校全体で子どもに関わり見守っているそうです。学校が子どもにとって安心できる場所でありたいと、繰り返しおっしゃっていたのがとても印象的でした。子どもたちが安心して学校生活を送れるように、家庭でも子供の気持ちに耳を傾

保護者会役員

藤井 愛

野呂 優子

石塚 望

け、心が安らぐ環境を作る事が大切だと感じました。

コロナ禍で制限されていた行事も、工夫しながら再開してきているそうです。子どもたちが学校生活の中で様々な経験をしながら、健やかに成長していくことを心より願っています。

お忙しい中、時間を作ってくださいさり貴重なお話をありがとうございました。



左より、藤井愛、中山正実校長先生、野呂優子、石塚望



がんばったね! たのしかった運動会!

運動会

年中 赤組

★運動会楽しかったね!



赤組担任 杉木 里咲

「あと何回寝たら運動会?」と当日を心待ちしながら、張り切る子ども達でした。かけっこでは、一人ひとりが自分の持っている力を全力で発揮し、最後まで一生懸命走り切りました。遊戯では友達と一緒に音に合わせて踊る楽しさを感じながら楽しみました。また、青組の組み立て体操やリレーを見て「かっこいいな、やってみたいな」と憧れを持ち、真似をして遊ぶ姿も見られます。「次は僕たち、私たち!」と来年を楽しみにしています。

運動会を通して、心も身体もまた一つ大きくなったなど感じます。たくさんの応援、ありがとうございます。



かっこいい!
ポーズが決まったよ!

年長 青組

★力を合わせた運動会!



青組学年主任 石田 紅実

十月八日(日)に運動会が行われました。リレーでは、バトンの渡し方を考えた話し合ったりしてリレーをするたびに順位が変わり、負けたり勝ったりして真剣な表情も見られました。遊戯では、ひとつひとつの動きを揃えることを大切に、子どもたちとカウントを数えながら練習しました。初めてポンポンをもって踊ったときは、「たのしい!」もつとしたい!」と楽しんで参加する姿が見られました。組立では、何度も何度も場所を確認し、友だちと力を合わせて練習しました。当日の子どもたちの表情は、自信に満ちていて胸を張って競技をする姿がとてもかっこよかったです。またひとつ大きく成長してくれたと思います。



旗をふって
楽しかったよ!

年少 **桃組**

★たのしかった運動会

桃組学年主任 畑段 光



この日を楽しみにしていた子どもたちは元気に登園し、運動会が行われました。

当日はたくさんのお客さんを前にいつもより張り切っていた子どもたち。ゴールまでしっかり腕を振って走ったかけっこ、クラスカラーの手袋をつけ、みんな楽しく踊った遊戯では、子どもたちの可愛いもあり、頑張っている姿を見ていただけたことだと思います。保護者の方と一緒に踊った親子ダンスでは、子どもたちも保護者の方とてもいい笑顔で踊っていて、微笑ましく嬉しい気持ちになりました。

入園して半年が経ち、大きな行事を経験した子どもたちは、また一つ成長し、自信に繋がったことだと思います。まだまだ成長していく子どもたちの姿を楽しみに過ごしていきたいと思っています。



いっぱいおどるぞう!



お家の人とダンス・ダンス

ひよこ組

満3歳児

★楽しかったね！運動会

ひよこ組担任 平岡 教子



元氣いっぱいひよこ組の子ども達は、踊ったり走ったりすることが大好きです。遊戯では曲が流れてくると踊り

始め、自然に恐竜の表情になったり首を振ったりと可愛い姿を見せてくれ、かけっこではゴール目指して一生懸命に走り楽しむ姿が見られました。

当日は小さい身体を動かす最後まで楽しみながら踊ったり、走ったりしていました。そして、親子ダンスでは保護者の方と一緒に触れ合い嬉しそうな表情がとても印象的で微笑ましかったです。

これからもいっぱい楽しいことを子ども達と一緒にしていきたいと思っています。

乳児

★運動会★

★げんきいっぱい運動会



令和五年十月二十一日(土)に乳児クラス運動会が行われました。この日も朝から元気に登園した子どもたち。いつものようにお散歩カートに乗ったり、お友達と手を繋いで歩きながら体育館に向かいました。体育館に入るとたくさんのお客さんに少しばっくりした様子の子もたち。

いざ音楽に合わせて入場すると、興味津々で周りを見渡したり、おうちの人を見つけて嬉しそうにしたり様々な表情が見られました。みんなが大好きなかけっこでは、ゴールにいる可愛い動物さんを目指してニコニコで走りました。よちよちと走る可愛い姿、力強く速く走れるようになった姿などから子どもたちの大きな成長を感じました。親子競技では、おうちの人と笑いあひながら力を合わせて頑張っていた子どもたち。運動会が終わった後も運動会ごっこをして楽しく過ごしました。

こすもす組担任 大塚 巳那子

2歳児

こすもすぐみ

1歳児

ちゅーりっぷぐみ

0歳児

たんぽぽぐみ



ワクワクドキドキはじめての運動会

サンサン体操 1・2・3!



たのしかったね！運動会!

★ちびっく芸術家の大集合!

絵画担当 井内 茜



令和五年十一月二十
五日(土) 作品展があ
りました。

この日に向けて、子どもたちはたくさんさんの材料を集めたり、どんな作品を作りたいかなど自分なりにしっかりと考え、いろんな工夫をして取り組みました。

日々仕上がっていく作品に「見て〜!」「こんなにカッコよくできた!」と満足げに話してくれる子どもたち。

作品や絵を前に表情がぱっ!と明るくなり「次はここにカッパをつけたい」「これもくつつけるから見てて〜」と話してくれたり、大きな作品を作る際には、「支えといてあげる」「こっち持っとくで」と友達の優しさも垣間見れ、支えてもらった後には「ありがと〜!」とお互いに自然と伝えあっている姿に、たくさんの成長を感じました。

前日は全園児の作品を見て園内を探検しました。

他のクラスの作品に興味を持ち「すごい」「これはどうやって作ったの?」と作品について話し合う可愛い姿も見られていました。

当日はたくさんの方に作品や絵を見て頂き、「頑張ったね」とたくさん褒めてもらい、子どもたちも自信に繋がったことだと思います。

今後も子どもたちの豊かな創造性や発想を大切にしながら保育活動を進めていきたいと思えます。



作★品★展

青(年長) 赤(年中) 桃(年少) ひよこ(満3歳児)

乳児

作品展

和五年十一月二十五日（土）に保護者の方に見ていただきました。当日は、保護者の方に「これ描いた！」「絵の具楽しかった」と嬉しそうに話す姿や、「上手だね」と褒めてもらいニコッと笑ったり照れたりする姿が見られました。四月から今までの作品を通して子どもたち一人ひとりの表現や成長を感じていただけたと思います。これからも「やってみよう！」「楽しい！」「という子どもたちの気持ちを大切にしながら、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。廃材集めにご協力いただきありがとうございました。



四月から子どもたち一人ひとりが、様々な素材の感触を楽しみながら伸び伸びと絵を描いたり作品を作ったりしてきました。今まで製作してきた作品や絵を、

楽しく作った作品展

こすもす組担任 植村 朋子

2歳児

こすもすぐみ



1歳児

ちゅーりっぷぐみ



0歳児

たんぽぽぐみ



園を飛び出し 園外保育 ドキドキワクワク

楽しくかったね！園外保育



いいお天気の中、十一月七日（火）に檀原神宮への園外保育がありました。「あと三回寝たら遠足だね！」と遠足の日を毎日楽しみにする姿が見られました。

桃組担任 中島 敦乃

駅までの道中は青組、赤組の子どもたちがそれぞれも組、ひよこ組、こすもす組の子どもたちの手をぎゅっと握り、仲良く歩いている姿がとても微笑ましかったです。駅に着くと、ホームに入ってきたあおぞら号に目をキラキラと輝かせ手を叩きながら大興奮の子どもたちでした。車内では約束を守り、「めっちゃ早いね！」「あとどれぐらいで着くのかな？」と会話をしながら嬉しそうに窓の外を眺めていました。

檀原神宮へ到着

してみんなでおにぎりを頬張った後はみんなが鬼ごっこをしたり、赤や黄色や緑に輝いたドンクリを探すのに夢中になったりとそれぞれ好きな遊びを楽しみました。また紅葉がとっても綺麗で秋の自然を全身で感じる事が出来ました。帰りの電車では「またみんなで行きたいね」と話していました。



檀原神宮

表彰

第七十二回 こども二科展

令和五年十二月九日に尼崎市総合文化センターで表彰式が行われました。

今年には八名の子どもたちが入選いたしました。おめでとうございます。表彰式では名前を呼ばれると緊張しながらも堂々と舞台上に上がり賞状を受け取る姿が見られました。式後、保護者の方の顔を見た子どもたちは安心した様子でホッと笑みがこぼれていました。今回の経験をバネにさまざまな活動の中でいろいろなことに自信をもってチャレンジして行ってほしいと思います。

二科展入選者 (総合文化センターにて)



課外活動

習字教室



習字教室講師 大田 香雨

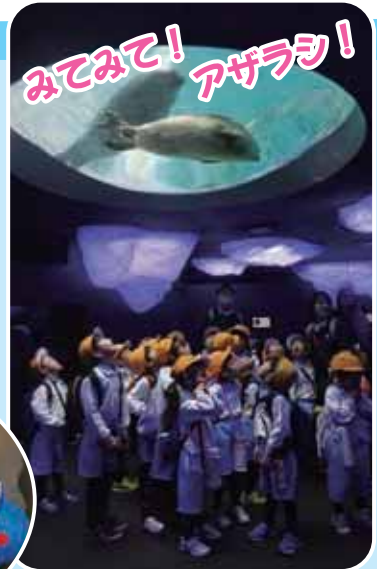


★今年度九月より毎月二回水曜日に「習字教室」を開いております。

教室での合言葉は「ピン・ペタ・グー・トン」

良い姿勢で正しく鉛筆を持つこと。また、お道具を大切にしながら準備・お片付けなど基本的な心構えも大事にしています。文字は一本一本の線を組み合わせ成り立っています。線のひき方からカタカナ・ひらがな・名前の練習、毛筆（水書）でのおけいこも予定しています。

「楽しい」をモットーにお子さま方に文字を書くことへの興味がどんどん広がるよう進めてまいります。



みてみて！アザラシ！



みかんいっぱい！

楽しかったね！ビックバン



気持ちいい！

編集後記

二〇二四年に迎える甲辰（きのえたつ）は、十千十二支の四十一番目の年にあたり、十千の一番目である「甲」と十二支の五番目である「辰」が重なる年です。

甲は十千の最初に出てくるもので、甲冑（かっちゅう）の「甲」の文字から鎧や兜を連想させ、種子が厚い皮に守られて芽を出さない状態や、物事に対して耐え忍ぶ状態を表す文字です。また、生命や物事の始まり、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表します。子どもたちにとって次につながる年になりますようにそしてたくさんの夢が叶いますように。

広報部 幼稚園 運営委員
保護者会 広報委員
写真協力 ストーリーテラー株式会社